

温暖化を防ごう！いわて環境フォーラム
CO₂ダイエットいわて倶楽部

マガジン 2015. 10月号

No. 122

(10/8発行)



■■ 今月のテーマ ■■ 「環境にやさしい住田町役場新庁舎」 ■■

◆ おらほの取組紹介します[一般社団法人岩手県産業廃棄物協会]・・・p3

◆ イベント情報・お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p4

環境にやさしい 住田町役場新庁舎

10月 は木づかい推進月間です。落成から1年が経った住田町役場新庁舎。国内初の木造工法を用いたインパクトのある外観や、建物は勿論、備品や冷暖房設備等にも地域の森林資源をふんだんに活用し、全国的にも注目を集めています。今号では、そんな新庁舎の森林活用と再エネ・省エネ設備についてご紹介します！



《住田町役場新庁舎の概要》

- 規模・構造：
敷地面積 7,881 m²、延床面積 2,883m²
木造2階建て
- 木構造部数量：710.7 m³
(スギ 247.7 m³、カラマツ 463.0m³)
- 工期 平成 25 年8月1日～平成 26 年7月 31 日
- 総事業費 約 15 億円

《新庁舎のコンセプト》

(1) 人にやさしく親しまれる庁舎

- ◆ワンストップサービス ◆ユニバーサルデザイン
- ◆住民交流スペース

(2) 環境にやさしく防災の要となる庁舎

- ◆再生可能エネルギーの導入 ◆省エネルギー設備の導入
- ◆防災拠点機能の充実、後方支援拠点機能の強化

(3) 住田町らしさを発信する庁舎

- ◆「森林・林業日本一の町づくり」を目指す住田町にふさわしい木造公共建築物
- ◆町の歴史・文化・産業などの情報発信スペースの設置

エントランスに入った途端、木の良い香りが漂ってきます。こちらのエントランスは、交流プラザという名称で町民の交流の場にもなっています。樹齢 100 年を超えるスギの木の象徴木が4か所に配置されており大迫力です。今回は、実際に庁舎内も見せていただきながら、総務課の佐藤さん、菊池さん、町民生活課の皆川さんにお話を伺いました！



▲象徴木

○「森林・林業日本一の町づくり」のシンボルとしての庁舎

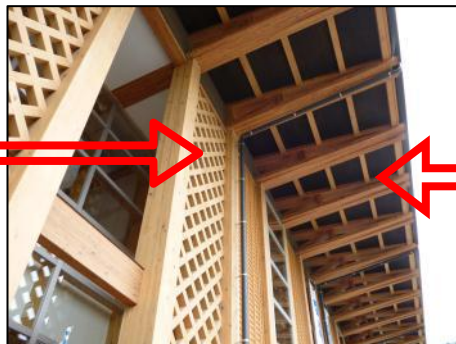
面積の約 90%が森林である住田町では、「森林・林業日本一の町づくり」を目指しており、【①木材流通システムの確立、②木質バイオマスエネルギーの利用、③森林環境教育の実践、④FSC 森林認証

の推進]といった、町が一体となつての循環型の地域林業システムを確立しています。そのような基盤があるため、新庁舎建設基本計画の検討時から、鉄筋コンクリートではなく木造の庁舎というのが大前提としてあったそうです。新庁舎で使用されている木材の何と約73%が町産材とのこと。

特徴的なのは、トラス梁と呼ばれる屋根と一体となったレンズ型の梁と、国内初の実用となったラチス耐力壁という格子状の壁です。梁にはカラマツ、壁にはスギが使われており、どちらも住田町内の工場で作られた集成材だそうです。

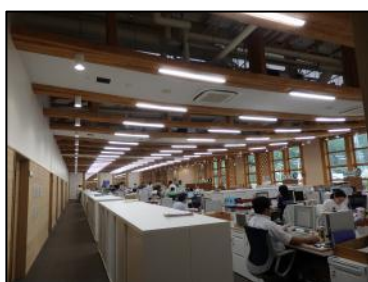
《ラチス耐力壁》

地震に抵抗する強度を持ち、デザイン性にも優れ、光と風を取り入れることが可能です。



《トラス梁》

1つの梁が3本の木材を組み合わせたものでできています。大スパンが可能となるので、2階には柱が無く、空間を広々と使うことができます。



▲柱の無い2階のオフィス



▲キッズコーナーには木のおもちゃが



▲至る所に木製の備品

○再エネ・省エネ設備の導入

木質ペレットボイラーによる冷暖房

庁舎の冷暖房の約6割を木質ペレット焚吸収式冷温水発生機で賄っているそうです。冷房としても使用できるタイプの導入は県内初！住田町では平成14年度から木質ペレットの製造を行っており、含水率がある程度安定しており、一定の燃焼が確保できること、燃料となるペレットが保管しやすいことから、導入を決めたとのこと。木質ペレットは、燃料費の面から見れば灯油などの燃料と比べて同じくらいか、若干安いそうです(ただし、同じ施設で比較した訳では無く、ガスや電気も併せて使用しているので、あくまでも大まかな計算となります)。カーボンニュートラルという観点からも、環境にやさしい冷暖房と言えます。



▲3台のペレットボイラー

太陽光発電・自家発電設備

太陽光発電は15kWとそれほど発電量は多くは無いそうですが、自家発電設備も備え、非常時などにも使用できるようになっています。また、駐車場にはソーラー街路灯も設置されていました。

自然換気

トップライトといって、天井4か所が開閉できるようになっており、春・秋などに活用しているそうです。

LED照明と人感センサー

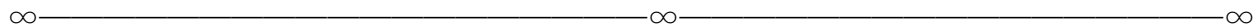
庁舎内の照明は全てLEDを取り入れているとのこと。廊下などには人の動きを検知して自動的に点灯・消灯する人感センサーを採用しているので、省エネに繋がります。

地域の森林資源を活用し町内で循環させていく、そんな住田町のシンボリック的存在となった新庁舎。木のぬくもりが人を呼ぶのか、新庁舎をきっかけに初めて訪れた方もいるようで、町民にもぐっと親しみやすさを増したようです。取材時(8月下旬)も、木の調湿作用のためか庁舎内は心地よく感じられ、職員の皆さんのお話によると、冬は寒さをそんなに感じないとのこと。全国からも頻繁に見学者が訪れるということですが、住田町新庁舎をヒントに、国内産の木材を取り入れたり、再エネ・省エネを積極的に導入した建物が広まっていくと良いですね！



おらほの取組紹介します

県内企業・団体の地球温暖化防止の取組を紹介します。
第 63 回は、「一般社団法人岩手県産業廃棄物協会」です。



1 中長期ビジョンの策定

昨年12月に岩手県産業廃棄物協会の「中長期ビジョン」を定めました。2年ほどかけてアンケートや訪問により会員の意見を集めながら今後の方針を協会独自にまとめたものです。

構成は、①快適で安全安心な環境の確保、②安定した産業廃棄物の処理体制の確立、③地域社会との共生、④情報の管理・発信 とし、「地球温暖化対策の促進」の項目を第一番目に位置付けました。環境産業として優先的に取り組まなければならない課題と考えます。

2 優良産業廃棄物処理業者認定制度

岩手県産業廃棄物協会は県条例に基づき平成15年に「産業廃棄物処理業者育成センター」に指定されています。毎年6月に優良産業廃棄物処理業者の3ランクの認定をしています。評価項目の中に環境分野が30点の配点になっていて地球温暖化対策の取組が大きく評価されるような仕組みです。現在、99社が優良と認められていますが、岩手県の許可業者は千数百もあるので、99社は選ばれた産業廃棄物処理業者と言えます。



育成センターのマスコット
「ニンティちゃん」

3 エコアクション21の取組

平成24年3月にエコアクション21に認証登録されました。行動指針の第一番目を「地球温暖化防止のために、電力等の消費に伴う二酸化炭素の排出削減を推進します」として取り組んでいます。東日本大震災以降、省エネ型の機器に替えたこともあって省エネ効果が出ています。県内の産業廃棄物処理業者の認証登録数は、他に比べて圧倒的に多いようです。



4 いわて地球環境にやさしい事業所としての取組

平成22年9月にいわて地球環境にやさしい事業所として認定されました。その後の取組により平成24年8月には最高ランクに認定され、平成27年7月に再認定をしていただきました。多くの会員企業が認定されていることもあって毎月のように関係する情報を提供しています。情報が増える分「紙」が増える傾向にあり、これが当面の大きな課題です。



5 産業廃棄物業界の取組

岩手県産業廃棄物協会が構成員になっている全国産業廃棄物連合会では、本年5月に低炭素社会実行計画を定めました。会員企業の2020年度における温室効果ガス排出量を2010年度と同程度(±0%)に抑制することを目標としました。2030年度の目標は、継続検討することとされました。産業廃棄物は、運搬、焼却、埋立など処理の各段階でどうしても温室効果ガスが排出されます。産業廃棄物処理業界としては率先して取り組まなければなりません。

一般社団法人岩手県産業廃棄物協会 専務理事兼事務局長 吉田茂

◆◆◆環境学習交流センターイベント情報・お知らせ

着物リメイクファッションショー in アイーナ復興バザー【入場無料】

復興支援としていただいた着物をリメイクした洋服のファッションショーです。陸前高田市・大槌町(大槌・小槌地区)の仮設住宅に住んでいる方たちが、岩手県環境アドバイザー・小赤澤直子さんの指導をうけ作製した着物リメイク講座の作品です。

—昨年から開催しているもので、更に素敵になった作品、姿を、大勢の方に見ていただきたいと思えます。ぜひお越しください。

今年で、3度目になるファッションショーですが、今回は、内陸支援の方々も応援出演していただき、モデルウォークで登場いたします。

【日時】平成27年10月18日(日)11:30~12:30

【場所】盛岡市 いわて県民情報交流センター・アイーナ 4F アイーナスタジオ

【出演】中村仮設手芸教室・まあむたかた

【主催】NPO法人環境パートナーシップいわて・環境学習交流センター

※本事業は、NPO法人環境パートナーシップいわてが、自主事業として開催しているものです。

【同時開催】第12回三陸を応援！復興バザー [時間]10:30~15:30 [場所]アイーナ4F 県民プラザ
アイーナ館内の各施設から提供された品をフリーマーケットとして販売します。

個人出店によるフリーマーケットや被災地関連の出店、福祉施設の出店もあります。

※復興バザーに関するお問合せ:アイーナ2階管理事務室 TEL:019-606-1717



「いわて環境情報板」10月号を更新しました！

※詳細はこちら:<http://www.iwate-eco.jp/know/mailmag.html>

上記お問合せはこちら 環境学習交流センター TEL:019-606-1752 メール:eco@aiina.jp

◆◆◆編集後記

うだるような暑さの夏が過ぎ、もうすっかり秋です。盛岡市の中央通りでは、今年も「トチの実が落ちます」の看板が9月に登場しました。元々は注意喚起のために設置を始めたものですが、いそいそと木の実を拾い集める人の姿も含めて(!?)、今では盛岡の秋の風物詩として親しまれています。(Y)

- 各件ビューをホームページでご覧になる際は、アクセスキーの「888」(半角数字)を打ち込んでください。
- 本メールマガジンには著作権が存在します。本誌の記事を転載される場合には発行人まで、ご連絡ください。
- パソコンのメールアドレスをお持ちの方は、メールマガジンへの登録変更をお願いします。
- 本メールマガジンは電子メールでも送付しております。可能な方は電子メールでご覧くださるよう、送付方法の変更について発行人までご連絡をお願いします。
- 本メールマガジンに関するお問合せ(住所変更等)及び情報提供又はご意見は、発行人までご連絡ください。

編集・発行: 岩手県地球温暖化防止活動推進センター・岩手県環境生活部環境生活企画室
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1-7-1
いわて県民情報交流センター・アイーナ5F
メール: iccca@aiina.jp TEL: 019-606-1752 Fax: 019-606-1753

CO₂ダイエット
いわて倶楽部

